

ヘルスメイトの おしゃべりコーナー

■ヘルスメイト（食生活改善推進員）は食生活の改善を中心に健康づくりのお手伝いをしています。乳幼児や保護者には離乳食教室や野菜を使ったおやつ作り教室を。中学生には強い体づくりの教室などを開催しています。また、町内の90歳以上の方（在宅）には、年2回手作り弁当を届ける活動を実施し、その他にも減塩と野菜摂取を進めるために家庭訪問や伝達講習会なども行って、それぞれの世代に合った活動を進めるように努力しています。



■今年も「食べよう野菜1日350g、減塩と体重管理で健康アップ」をスローガンに、62人のヘルスメイトが町内各地区で活動する予定ですので、地域の皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



問い合わせ先 …大豊町食生活改善推進協議会
(住民課健康づくり班内)

交通安全ニュース

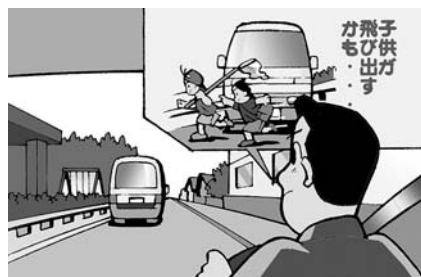


『連休中の交通事故防止』

大型連休になり、外出の機会も増える頃。

道に詳しくない町外、県外のドライバーも多く、山菜採りや写真撮影のために車道に駐車させている人もしばしば見かけます。

いつも通る場所だと油断せず、不用意に交通事故に巻き込まれることのないようご注意ください。



停車している車の影
に人がいないか注意！



渋滞も予想し十分な車間距離と
時間に余裕を持った運転を！

高知東警察署本山警察庁舎
高齢者交通安全アドバイザー 上池
☎ (0887) 76 - 0110

停車後も気を抜かないで

昨年、町内では停車した車による自損事故により高齢女性が亡くなられています。

車を停車する際は、必ずサイドブレーキ(フットブレーキ)をかけましょう。

坂道などでは特に危険です。

初心に戻り、安全運転とともに発車前、停車後の安全確認を忘れずに！



寸劇で事故防止 ご協力ありがとうございました！



4月3日(日)、旧ゆとりすと交流センター(東土居)でのイベント会場において、地元住民をキャストに加えた寸劇を披露し、高齢者の事故防止を呼び掛けました。

まちのできごと

大豊町山村農業実践センター開所



3月30日、大豊町山村農業実践センターの開所式が行われました。

開所式には、関係者約20人が出席し、施設を見学しました。

この施設は、中村大王の旧高知県山間試験室を活用し、本町での定住人口増につなげるため、新規就農希望者等を対象とした農業研修をはじめ、就農体験受け入れや大学との連携拠点、就農希望者と地域の方々との交流の場など、複合経営拠点として開所しました。

山村農業実践センターでは、研修生を募集していますので、詳しくは、農業センター(☎073-0978)までお問い合わせください。

土佐れいほく農協大田口支所落成



4月5日、建て替え工事のため、昨年9月から仮店舗で営業していた黒石の土佐れいほく農協大田口支所の落成記念式典が行われました。

当日は、関係者が集まり神事と餅まきが行われ、その後ふれあいセンターで約130人が参加して盛大に祝賀会が開催されました。

新事務所は、4月11日から業務を開始しています。

豊永郷民俗資料館新装開館

3月27日、豊永郷民俗資料館が新装開館し、記念式典が開催されました。

豊永郷民俗資料館は、昭和48年に定福寺の境内に完成し、豊永郷で使用された民具、重要有形民俗文化財2,595点を含む15,000点を展示していましたが、40年が経過し、建物の老朽化で保存環境が悪化したため、NPO法人豊永郷民俗資料保存会が高知県の補助を受け、昨年の9月に建て替え工事が完了しました。建物は木造2階建てで、2つの棟がつながっており、延べ床面積は約480㎡、内部の洗練された木組みなどが評価され、昨年、高知県建築文化賞で最優秀にあたる、県知事賞に選ばれています。

学芸員の釣井龍秀さんを中心に、地元の方々で民具の搬入や展示作業を行い、すきや、脱穀機などを展示した「稲作エリア」、世界的にも珍しいと言われるのこぎりや斧など伐採の道具を並べた「里山エリア」、昭和50年ごろまで、本町の基幹産業であった養蚕用具を展示した「養蚕エリア」など、永く豊永郷で培われてきた民具を、子どもたちも興味を持つように心がけたわかりやすい解説付きで展示しています。



●開館時間 9:00~17:00 ●年中無休(年末年始を除く)